

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ぐるはうす黒川					公表日 令和7年2月10日	
	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			部屋数やスペースが限られている中で、身体づくり、音楽活動や創作活動など職員で意見を出しながら工夫している。子どもや保護者からも好評を得ていると感じる。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		1	職員数が大いに越したことはないが、必要な配置+αで行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	1	階段が急ではあるが、職員の声掛け、見守りと子供たちに意識させることでこれまで一度も怪我無く昇降できている。1階と2階で目的を分けているため、子供たちも切り替えがしやすい。	低学年の児童には少し高い段差部分があるので、早急にステップを設置する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	5		毎日の掃除や整理整頓で清潔に保っている。	1階の床が冬は冷たく感じる子供もいるため、座布団やカーペットなどを準備して対応する。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2		個別の部屋の確保は難しいため、パーティションを使って集中できる環境づくりをしている。		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	6		常勤職員、非常勤職員のそれぞれのミーティングを行い、情報や意見交換を行っている。	「PDCAサイクル」という表現を職員間で普段使わないため、回答にいいえが多かった。振り返りは週1回程度のミーティングで情報や意見の交換を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		保護者のアンケートをもとに職員間でミーティングを行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			常勤職員、非常勤職員のそれぞれのミーティングを行い、情報や意見交換を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	1		外部評価は行ってない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			ウェルネットに掲載している研修や民間研修は職員に案内し、希望者は可能な限り参加できるようにしている。研修参加後は他の職員へのアウトプットの機会を設けている。		
適切 な 支 援 の 提 案	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		1	毎月のプログラムはHPに公表している。利用の家庭には個別にご案内している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			児童発達支援管理責任者を中心に適切に行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			仮の計画の段階で職員会議で内容を検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	1	ミーティングで職員間で意見交換を行っている。	一人一人の計画をすぐに確認できる状況にないため、確認しやすいファイルなどを作成し、広く共有するようにする。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2		HUGシステムを使い、業務日報を共有している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		1		4つの狙いをすべて満たす支援内容を設定するのが難しい場合もあるため、他施設の事例などを参考にしたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	5			1か月のおおよその企画は専任職員が担当し、具体的な内容や取り組み方はチームで共有して行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			同じ子供が同じプログラムにならないようにしたり、楽しめるプログラムを考えながら行っている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	2		限られた時間しかないため、集団活動が多くなってしまうが、個人での活動も時間を作り取り組めるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2		全員が揃って打合せをすることは難しいため、LINEやホワイトボードを使って支援内容の共有、確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4		全員が揃って打合せをすることは難しいため、LINEやホワイトボードを使って支援内容の共有、確認を行っている。非常勤職員でも意見の言いやすい環境づくりができています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			文字だけの記録でなく、画像や動画を残し記録を行っている。必要があれば保護者に適宜見せてもらっている。	
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			6カ月に1回以上は見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		1	複数組み合わせでプログラムの企画や運営を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	5	1		現時点で関係機関との連携が必要な児童がいないため、会議は行っていない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	5	1		現時点で関係機関との連携が必要な児童がいないため、会議は行っていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			学校の先生方とは細かく連絡を取り、送迎時の対応などトラブルなく行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	1		対象児童がいないため、該当なし。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3	3		対象児童がいないため、該当なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5	2		名古屋市北部地域療育センターと連携を図っているが、研修や助言などを受ける機会はまだ実施していない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2		公園での活動や防災活動などで地域の子供たちと触れ合う機会が多い。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	1	名古屋事業所連絡会（北ブロック）に参加している。	職員への情報共有が少ないのでミーティングなどで共有していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1		LINEや電話、送迎時に連絡を取り合っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	1	研修のように行っていないが、個別に必要な情報提供を行っている。	
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		1	口頭での説明と書面での説明を必ず行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			口頭での説明と書面での説明を必ず行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			口頭での説明と書面での説明を必ず行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			電話や面談でいつでも対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		1		現在は父母会は行っていないので、保護者も参加できるプログラムを今年度に計画している。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6			地域のイベントなどに積極的に参加を検討しているが、日程のタイミングなどが合わずに実施できていない。積極的に行っていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			年に1回から2回以上研修を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			年に1回から2回以上研修を実施している。避難訓練は毎月行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		1	食物アレルギーは全職員が把握できるようになっており、おやつや食事の提供でも気を付けている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			年に1回から2回以上研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		1	口頭での説明と書面での説明を必ず行っている。		